

火災・救急件数(9月末日現在)

◆火災 94件【前年比 +27件】

◆救急 15,436件【前年比 +654件】



積乱雲の近づく兆しに注意

竜巻とは、積雲や積乱雲に伴って発生する強い上昇気流をもった激しい渦巻きです。雲の底からたれ下がるように、ロート雲(ロート状や柱状の雲)ができ、海面や地面から巻き上げた水滴やちりや砂などが尾のように立ち上がり、これらが繋がって、ロート状の雲の軸がまっすぐ、または曲がりくねった形で見えます。

竜巻の中心付近は周りよりも気圧が低く、そのため地表付近では竜巻の中心に向かってらせん状に風が吹き、中心に近づくほど急速に風が強くなっていき、上昇気流となつて周囲の空気や物を巻き込みながら移動していきます。

台風や寒冷前線、寒気の流入など、局地的に大気の状態が非常に不安定な場合に多く発生しています。

竜巻が発生する特徴に注意

- ◇真つ黒い雲がロート状に垂れ下がる。
- ◇物やごみなどが巻き上げられ、飛んでいる。
- ◇ゴーと言う音がする。
- ◇気圧変化により耳に異常を感じる。

◇真つ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。

◇雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。

◇ヒヤツとした冷たい風が吹き出す。

◇大粒の雨やひょうが降り出す。

【屋外にいる時】

- 1 近くから離れる。
- 2 窓の無い部屋等へ移動する。
- 3 部屋の隅・ドア・外壁から離れる。
- 4 地下室か最下階へ移動する。
- 5 頑丈な机のしたに入り、両腕で頭と首を守る。
- 6 雨戸がある窓は雨戸を閉める。

【屋内にいる時】

- 1 近くの頑丈な建物に移動する。
- 2 頑丈な建物がなければ、散物から身を守るような物陰に身を隠し、頭を抱えてうずくまる。
- 3 強い竜巻の場合は、自動車も飛ばされるおそれがあるので、自動車の中でも頭を抱えてうずくまる。

救急救命士のワンポイントアドバイス

～生活習慣病を予防しましょう～

日本人の三大死因は、ガン・脳卒中・心臓病です。最近ではこれらの原因でもある高血圧・高脂血症・糖尿病などの患者さんが増えています。

これらは加齢や遺伝的な要因だけではなく、不適切な食生活・運動不足・過度の飲酒・喫煙・ストレスといった「生活習慣のゆがみ」が深く関与しており、これらの病気は「生活習慣病」と呼ばれています。生活習慣の改善を目指し、発症そのものを予防しましょう。

【食事】

- ・自分に必要なエネルギー量と望ましい食事、食習慣を理解し心がけましょう。
- ・朝食の摂取、1日2食以上主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をとることを心がけましょう

【運動】

- ・通勤、職場、家庭等の日常生活の中で意識して身体を動かしましょう。

【ストレス】

- ・気分転換をしましょう。
- ・自分の時間を持つようにしましょう。
- ・趣味を楽しみましょう。
- ・満足のできる睡眠をとりましょう。
- ・疲れたときには十分休みましょう。

【飲酒】

- ・過度の飲酒に注意し、飲酒の健康被害について理解を深めましょう。

【喫煙】

- ・喫煙の健康被害について理解を深めましょう。
- ・喫煙者は禁煙にチャレンジしましょう。
- ・一人ひとりの自発的な受動喫煙防止対策を実行しましょう。
- ・たばこの煙から子供を守りましょう。

※血圧、肥満、糖代謝、脂質の4項目は、毎日の生活改善が最も重要といえます。

生活習慣病の予防のために、心と身体の健康に気を配りましょう。

竜巻に備えて普段から心がけておくことは

○竜巻注意情報の入手手段を調べておきましょう。

○身の回りの屋内外の避難場所、避難方法を考えておきましょう。

○ガラスの破砕防止対策(飛散防止フィルムを貼ること等)も有効です。

住宅用火災警報器の設置はお済みですか?

市川市火災予防条例では、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。まだ設置されていないご家庭は、早期の設置をお願いいたします。なお、居住者全員が65歳以上で、かつ市民税非課税である場合には、警報器給付事業の対象となります。

【住宅用火災警報器奏功事例】

住宅用火災警報器を設置したことで大事に至らずにすんだ奏功事例が数多くあります。今回はその一部をご紹介します。

【事例1】

灰皿の吸い殻をゴミ箱に捨て、隣室にいたところ火災警報器の警報音に気付いたためゴミ箱のみが焼損した程度で済んだ。

【事例2】

台所で住宅用火災警報器(熱感知器)が発報した。室内を見渡すと、冷蔵庫の後ろから煙と炎が立ち上がったため家人により水道水で消火、早期発見により大事には至らずに済んだ。

【お問合わせ】

- ・住宅用火災警報器について 消防局予防課 Tel.333・2116
- ・警報器給付事業について 地域福祉支援課 Tel.334・1152

※住宅用火災警報器は、寝室、寝室のある階の階段、台所に設置が必要です。

11月9日(土)～15日(金)

秋の火災予防運動が始まります

【消すまでは 心の警報 ONのまま】
～平成25年度全国統一防火標語～

これからの季節少しずつ寒さが増し、また、空気が乾燥して火災が発生しやすい時期を迎えます。悲惨な火災の発生を防止するため、11月9日(土)から11月15日(金)の間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

平成24年、市川市では100件、全国では44,189件の火災が発生し、前年と比較すると市川市は15件の減少、全国でも5,817件減少しました。出火原因については、毎年「放火・放火の疑い」「たばこ」「コンロ」が上位を占めています。また近年住宅火災でお亡くなりになる方が急増し、特に65歳以上の高齢者の被害が半数以上となっています。これは高齢社会の進展を反映しているものと思われます。火災は一人ひとりの心がけで防ぐことができます。火災から尊い命、大切な財産を守るため、火災予防に対する意識を高め、火災を未然に防止しましょう。

市内の小学生が描く防火ポスター 火災予防絵画展開催!

秋の火災予防運動の一環として11月9日(土)から17日(日)まで、市川駅南口のザタワーズ ウエスト45階市川市アイ・リンクタウン展望施設で「火災予防絵画展」を開催します。

この絵画展は子どもたちから火災予防に対する意識を持つため、市内小学校の児童を対象に作品を募集したもので、今年605点もの応募がありました。会場では、入賞作品82点を展示します。

火災予防絵画展

【開催日時】
平成25年11月9日(土)～17日(日)午前9時～午後10時
※11月9日(土)は午後から開催

【場所】
市川市市川南1丁目10番1号ザタワーズウエスト45階市川市アイ・リンクタウン展望施設

【問い合わせ先】
消防局予防課
☎3333・2116



平成25年度最優秀作品 (2作品)



市川市アイ・リンクタウン 展望施設

エアゾール式簡易消火具の自主回収対象商品の廃棄処分について!!

■対象商品

【ヤマトボーイKT】

製造ロット番号	品質保証期間
KO331	2005.01
KO331	2005.02
KN326	2005.02
KD317	2005.03
K1426	2005.04
K2407	2005.05
K2420	2005.05
K3407	2005.06
K3419	2005.06
K4422	2005.07
K7424	2005.10



【FMボーイk】

製造ロット番号	品質保証期間
KN301	2005.02
KN322	2005.02
KD319	2005.03
K1425	2005.04
K2408	2005.05
K2421	2005.05
K3406	2005.06
K3418	2005.06
K4423	2005.07
K7425	2005.10



■対象商品以外

キャップと安全ロックが付いている商品は対象外です。ご安心ください。



製造ロット番号と品質保証期間は、缶底に表示しています。例えば、2005年10月に品質保証期間が過ぎる場合、以下のように記載されています。

2005.10



対象商品の品質保証期間 2005.01～2005.10

製造から10年経過

【ヤマトプロテック株式会社の連絡先】

土・日・祝日を除く平日 9時～17時の連絡先 ☎0120-801-084
夜間(平日17時以降)及び土・日・祝日の緊急連絡先 ☎072-361-2101
ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp/>
※現在の回収及び廃棄率約70%

ヤマトプロテック株式会社が製造したエアゾール式簡易消火具の破裂事故が発生しています。重大な人身事故が発生する恐れもあり、大変危険です。ご家庭に同社製のエアゾール式簡易消火具をお持ちの場合は、対象製品であるかを上記の製造ロット番号で確認して下さい。上記の商品をお持ちの方はヤマトプロテック株式会社お客様相談窓口へ連絡してご相談下さい。